

スタインウェイ Steinway

J.S.バッハ:トッカータ ニ短調 BWV913

J.S.Bach: Toccata d-Moll BWV913

パヴェウ・シマンスキ:2つの練習曲 (1986)

Pawel Szymanowski: Two Studies

ペルト:アリーナのために (1976)

Pärt: Für Alina

プロコフィエフ:トッカータ ニ短調 Op.11

Prokofiev: Toccata d-Moll Op.11

1843年製プレイエル Pleyel 1843

シューマン:幻想小曲集 Op.12 (1838)

Schumann: Fantasiestücke Op.12

ショパン:2つの夜想曲 Op.27より

第1番 嬰ハ短調 (1836)

Chopin: 2 Nocturnes No.1 en ut dièse mineur Op.27-1

ショパン:スケルツォ第1番

ロ短調 Op.20 (1835)

Chopin: Scherzo No.1 en si mineur Op.20

TOPPAN HALL

2019/20 SEASON



〈エスポワール スペシャル 15〉

コンクール優勝後
急成長を遂げる俊英が
イメージーション豊かに
2台の楽器を弾き分ける!

ショパン国際ピリオド楽器コンクール
初代覇者

Tomasz Ritter

トマシュ・リッテル

fortepiano & piano

7.4
2020 SAT

18:00開演 トップアンホール
Saturday 4 July 2020, 18:00 TOPPAN HALL
全席指定 4,500円/学生 2,000円
発売:3月11日 国 [会員:3月7日 国]

ピアノ3公演セット券 *詳細は裏面をご覧ください。

主催:トップアンホール

【使用楽器】
1843年製 プレイエル
マホガニーケース
製造番号No.10456
ほぼオリジナル状態を保つ
非常に貴重な楽器
タカギクラヴィア(株)所有



2018年9月にワルシャワで、「第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール」が開催されると聞いた時の第一印象は2つ。まずは、ピリオド楽器の認知度もここまで拡大したのかという面映ゆいような感懐。もう一つは、中国、韓国などで見られるような、コンクールへ向けての徹底教育を受ける若手の増加に対して、ヨーロッパの音楽界は、このような対抗策に打って出たのかという感懐。この両者が複雑に交錯したことが思い出される。コンクール開催の記者発表は、ワルシャワと、ここトッパンホールの2ヶ所でのみ行われた。トッパンホールは、アジアの地においてピリオド楽器奏者を積極的かつ継続的に紹介しているピリオド楽器の聖地として、審査員から名前が挙がったのだという。光栄なことだ。

さて、いざコンクールの幕を開けてみると、大方の予想通り、ショパンコンクール開催の場が増えた!とばかりに、モダン奏法のままピリオド

楽器をひっぱたく若手と、稀有な機会を逃すまじと挑むピリオド楽器奏者たちが対照的で、それなりの見ものだったように思う。

記念すべき第1回コンクールで優勝したトマシュ・リッテルは、ダークホース的存在だったようだ。コンクールに挑むというよりは、ピリオド楽器を演奏する喜びを噛みしめつつ、自分自身との対話を楽しむかのような様子が、昨今のコンクールに出場する若者の中では異色だったのである。そんなリッテルに勝利の女神がほほ笑むというあたりに、本コンクール(というか審査員の慧眼というべきか)に対する好印象を持ったことも、今回、彼のリサイタル開催を決めた大きな理由だ。

試行錯誤の結果、出来上がった今回のプログラムは、あたかもリッテルが見据える未来の自分自身への設計図のようだ。ピリオド楽器専門ではなく、モダンのコンサートグランドも弾いていくという明確な意志を持つリッテルらしく、前半ではJ.S.バッハと現代の作品が、慎重かつ精妙に選ばれている。後半では1843年製のブレイエルで、1830年代に作曲されたショパンとシューマンの名作が演奏される。2台の楽器の特質と自身の持ち味を存分に生かした、周到でしたかなプログラムとなっている。コンクール優勝後、2度リッテルと会ったが、その印象は大きく異なる。初対面の時はどこかふわふわした若者だった彼が、時をおかずに再会した時には音楽家としての自信を身につけ、人間としてもひとまわり大きくなっていて、頼もしかった。目覚ましい急成長を遂げるリッテルのデビューリサイタル。皆さまとともに大きな期待をもって見守りたい。

ピアノ3公演セット券のご案内

通常価格
17,000円のところ

トッパンホールクラブゴールド会員 12,750円
レギュラー会員/一般 14,450円

全席指定
限定数販売
会員同時入会可

トーマス・ヘル — 異才たちのピアノイズム 8
— ピアノ音楽の本質を伝える才知との邂逅

4/12 2020 17:00 一般 5,000円 / 学生 2,500円
開演 販売中

- ◆ 権代敦彦: Diesen Kuß der ganzen Welt (2011)
- ◆ ヤナーチェク: ピアノ・ソナタ (1905年10月1日、街角にて)
- ◆ 矢代秋雄: ピアノ・ソナタ (1961)
- ◆ ベートーヴェン: ディアペリの主題による33の奏楽曲 八長調 Op.120

アレクサンドル・メルニコフ — 一夜で4台を弾き分ける

4/22 2020 19:00 一般 7,500円 / 学生 3,500円
開演 販売中

- 〈チェンバロ〉
- ◆ J.S.バッハ: 半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV903
- ◆ シューベルト: 幻想曲 八長調 D760 《さすらい人》
- 〈フォルテピアノ 2台弾き分け〉
- ◆ C.P.E.バッハ: 幻想曲 嬰へ短調 Wq67
- ◆ モーツァルト: 幻想曲 八短調 K475
- ◆ メンデルスゾーン: 幻想曲 嬰へ短調 Op.28 《スコットランド・ソナタ》
- ◆ (スタインウェイ)
- ◆ スクリャービン: 幻想曲 口短調 Op.28
- ◆ シュニトケ: 即興とフーガ (1965)

トッパンホールWEBチケット www.toppanhall.com/

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

チケットぴあ 0570-02-9999 / ローソンチケット 0570-000-407

会員優待割引およびセット券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。
*学生券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。*未就学児のご入場はお断りいたします。
*託児サービス【要予約・有料】:公演日1週間前までにイベント託児・マザーズ 0120-788-222 [10:00~12:00, 13:00~17:00(土日祝休み)]へお申し込みください。

※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
※開場は開演の30分前となります。

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69][飯64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
www.toppanhall.com/

木のぬくもりある「トッパンホール」をよりお楽しみいただくために。

TOPPAN HALL

CLUB

会員募集中

チケットお申し込みと同時に手続きもできます。

ご入会手続きは入会申込書を右記事務局宛にご郵送、
またはウェブサイトからのお手続きもできます。

トッパンホールクラブ事務局

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3
TEL:03-5840-2222 www.toppanhall.com/club/

【特典】

■主催公演チケット優先予約

■主催公演チケット料金の優待割引

ゴールド会員 20% 割引 [年会費5,000円]

レギュラー会員 10% 割引 [年会費3,000円]